

令和4年度 2学年「国語科」シラバス

学習の目標

日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにします。言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○音読・朗読 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○作文 ○ノート ○提出物

学習計画

単元名	主な学習内容	家庭学習で 取り組めること
<ul style="list-style-type: none"> ○ふきのとう ○きょうのできごと ○ともだちをさがそう ○たんぼぼのちえ ○かんさつ名人になろう ○うれしいことば ○スイミー ○こんなもの、見つけたよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が想像した様子や感じた気持ちを織り込みながら楽しく音読する。 ・題材を選び、時間の順序に沿って日記を書く。 ・「まいごのおしらせ」を聞き、「ゆかさん」を探す。絵の中から人物を選び、二人組で迷子のお知らせをする。 ・たんぼぼが、いつ、どんなちえを働かせているのかを捉える。 ・観察するものを決め、メモを書き、それをもとに観察記録文を書く。 ・うれしい言葉の一つを選び、出来事とそのときの気持ちを書く。 ・「初め」「中」「終わり」の文章構成を理解して、あらすじと自分の思いを書く。 ・書く事柄を順序に沿って整理し、構成を意識して文章を書く。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 年間を通して ・音読 ・片仮名 ・漢字練習 ・日記 </div> <ul style="list-style-type: none"> ㊦「たんぼぼのちえ」 ・文作り ・昔話を読む、聞く。 ・春の言葉集め ・片仮名で書く言葉集め ㊦「スイミー」 ・文作り
<ul style="list-style-type: none"> ○あったらいいな、こんなもの ○ミリーのすてきなぼうし ○ことばでみちあんない ○どうぶつ園のじゅうい ○ことばあそびをしよう ○なかまのことばとかん字 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す事柄や順序を考え、丁寧な言葉で相手に分かりやすく話す。 ・自分が紹介したい本の紹介メモを書き、紹介し合う。 ・道案内のしかたを考え、友達と道案内をし合う。 ・時間的な順序を考えながら、獣医の仕事の内容やその行動の理由を読み取る。 ・「あいうえお」「あかさたな」を使って文を作り、発表する。 ・グループで言葉を集め、言葉の仲間分けクイズを作って交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦「ミリーのすてきなぼうし」 ・関連図書の読書 ・夏の言葉集め ㊦「どうぶつ園のじゅうい」 ・文作り
<ul style="list-style-type: none"> ○お手紙 ○主語と述語に気をつけよう ○かん字の読み方 ○そうだんにのってください ○おもちゃの作り方をせつめいしよう ○かたかなで書くことば ○わたしはおねえさん 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や会話を中心に場面の様子を想像し、声の出し方や動きを工夫して音読劇をする。 ・主語・述語に気をつけて話したり書いたりする。 ・複数の読みがある漢字や読み方と送り仮名の関係を知る。 ・話し合いの進め方や留意点を知り、グループで話し合う。 ・「馬のおもちゃの作り方」の説明の工夫を見つけ、おもちゃの作り方を説明する文章を書く。 ・絵を見て片仮名を使った文を書く。 ・物語を、想像を広げながら読み、自分の経験と結び付けて感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦「お手紙」 ・秋の言葉集め ・漢字の読み方を調べる。 ・丁寧な言葉で話す。 ・文作り ・片仮名で書く言葉集め
<ul style="list-style-type: none"> ○お話のさくしゃになろう ○にたいみのことば、はんたいのいみのことば ○おにごっこ ○ようすをあらわすことば ○見たこと、かんじたこと ○楽しかったよ、二年生 ○カンジーはかせの大はつめい ○スーホの白い馬 ○すてきなところをつたえよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見てお話を考え、まとまりごとに分けながらお話を書く。 ・似た意味の言葉や反対の意味の言葉の組を作り、発表する。 ・おにごっこや他の遊びについて本を読んで調べ、説明し合う。 ・様子を表すさまざまな言葉を知り、それを使って文を書く。 ・自分の経験から書く題材を決めて、短い詩を書く。 ・1年間の学校生活を振り返り、話すことの内容を書き、発表し合う。 ・漢字を合体させる機会の仕組みを理解し、設問に取り組む。 ・場面の様子を想像しながら読み、感想を交流し合う。 ・文章を読み返し、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしながら手紙を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語作り ・物語文の読書 ・言葉集め ・冬の言葉集め ・関連図書の読書 ・言葉集め ・詩作り ・言葉集め ・スピーチ練習 ㊦「スーホの白い馬」 ・文作り

令和4年度 2学年「算数科」シラバス

学習の目標

第1学年の学習を踏まえて、引き続き具体物などを用いることを通して算数の学習に関心を持ち、基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常生活や算数の事象を、数学的に捉え表現したり処理したりすることを重視します。

数の概念についての理解を深め、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさを測定したり、表やグラフに表したりすることなどの技能を身に付けるようにします。数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養います。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の概念、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

評価の方法

算数の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ドリル ○ノート ○提出物



学習計画

単元名	主な学習内容	家庭学習で 取り組めること
<p>○学びのとびら</p> <p>1、わかりやすくあらわそう</p> <p>2 たし算のしかたを考えよう</p> <p>3 ひき算のしかたを考えよう</p> <p>4 長さをはかってあらわそう</p> <p>5 100より大きい数をしらべよう</p> <p>6 水のかさをはかってあらわそう</p> <p>7 時計を生活に生かそう</p> <p>8 計算のしかたをくふうしよう</p> <p>9 ひっさんのしかたを考えよう</p> <p>10 さんかくやしかくの形をしらべよう</p> <p>11 新しい計算を考えよう</p> <p>12 九九をつくろう</p> <p>13 1000より大きい数をしらべよう</p> <p>14 長い長さをはかってあらわそう</p> <p>15 図をつかって考えよう</p> <p>16 分けた大きさのあらわし方をしらべよう</p> <p>17 はこの形をしらべよう</p> <p>○ 2年のふくしゅう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・算数での、教科書やノートの使い方を学ぶ。 ・分類整理して表やグラフに表したり、表やグラフを読み取ったりする。 ・筆算形式による2位数の加法計算の仕方について理解する。 ・筆算形式による2位数の減法計算の仕方について理解する。 ・長さの概念、測定の原理、単位などについて理解する。 ・1000までの数についてその意味や表し方を理解する。 ・体積の単位の意味と測定の原理を、既習である長さの学習を基に理解し、体積に対する量感を養う。 ・時刻や時間の概念や、日、時、分の単位やその相互関係について理解する。 ・加法の結合法則や簡単な加減の暗算のしかたを理解する。 ・筆算形式による2位数の加減計算や3位数±1～2位数の計算のしかたを理解する。 ・三角形や四角形の構成要素を捉えて、その定義や特性を理解する。 ・5、2、3、4の段の九九を構成することができ、それらを用いる。 ・日常生活や学習に活用する。 ・6、7、8、9、1の段の九九を構成することができ、それらを用いる。 ・日常生活や学習に活用する。 ・10000までの数の表し方を理解し、数の概念をより深く理解する。 ・長さの測定を通して、長さの概念や測定、および単位についての理解を深め、長さの量感を養う。 ・逆思考の問題解決を通して加減の相互関係について理解する。 ・分数の意味を知り、日常の中で分数を用いる能力を養う。 ・箱の形をしたものの観察や作成などの作業的活動を通して、図形を構成する要素を理解する。 ・今までに学習した内容の理解を深める。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・表の書き方や読み方の練習 ・たし算の筆算の計算練習 ・ひき算の筆算の計算練習 ・長さの測り方や単位の書き方の練習 ・3桁の数の書き方や読み方の練習 ・水の単位の意味や測定の練習 ・時刻の読み方の練習 ・たし算やひき算、暗算の練習 ・たし算とひき算の筆算の計算練習 ・長方形や正方形の性質を調べる ・かけ算の暗唱 ・かけ算の暗唱 ・4桁の数の書き方や読み方の練習 ・長さの測り方や単位換算の練習 ・たし算、ひき算の計算の意味の復習 ・分数の表し方の練習 ・箱の形の作図 ・1年間の復習